

令和2年3月19日

高田高等女学校・奈良県立高田高等学校
創立百周年記念事業実行委員会 各専門委員会 委員各位

奈良県立高田高等女学校・高田高等学校
創立百周年記念事業実行委員会
実行委員長 中尾勝二

創立百周年記念事業実行委員会第5回企画委員会の協議内容について(報告)

時下、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育の充実発展に多大の御支援と御尽力を
いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

高田高等学校では、来る2021年(令和3年)に目出度く創立百周年を迎えるにあたり創立百周年記念
事業実行委員会を組織し、各専門員会で協議し、各方面で諸事業の具体化を進めているところです。

さて、令和2年2月23日(日)に開催しました第5回企画委員会におきましては、各専門員会における取組
内容やその進捗状況について、互いに確認し合うとともに、各種の創立百周年記念事業ごとに、今後の具体
的な方向性について検討をいたしました。

各専門委員会委員長より提案、企画委員会の出席者によって審議の上決定されました内容を、下記のと
おり、実行委員各位に報告させていただきますので、ご確認くださいますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、高田高校 HP の100周年記事事業実行委員会コーナーに議事録を掲載いたし
ておりますので、ご覧下しますようお願いいたします。

また、このことについて、ご質問等がございましたら、
実行委員会事務局(高田高等学校): 0745-22-0123 までお問い合わせ願います。

記

1 はじめに

- (1) 黙祷 藤井照子副委員長(同窓会副会長)の逝去に対し、黙祷を行った。
- (2) 開会挨拶 中尾委員長、西上校長、高橋 PTA 会長
- (3) 出席委員紹介(出席22名)

2 議事

(1) 経過報告

資料「百周年へのスケジュール」をもとに、特に第4回企画委員会(令和元年9月1日開催)以降の
進捗状況について説明がなされた。

資料「第4回企画委員会報告(要旨)」をもとに、協議内容についての確認がなされた。

(2) 募金活動の現状と今後の取組について

本年2月現在の寄付金集計をもとに現状説明がなされた。

3月の卒業式・合格者説明会、4月の入学式において保護者へ協力依頼を予定。

(3) 各専門委員会からの報告・提案及び協議・決定事項

① 総務委員会

- ・ マスコットキャラクターのデータ化及びネーミングを決定(たかぴー・ここぴー)、今後、ポスターなど各種印刷物や配布物に活用していく。
- ・ 書道部による手作り横断幕を製作、今後各種の学校行事等で活用していく。
- ・ 現行ポスターの劣化等により、第2弾ポスターを製作する。
- ・ 記念品の制作について、使って頂けるものを陶器等で作れないか、同窓生の陶芸家を交え検討中。QRコードを活用した音声や画像の提供について検討中。
- ・ 他の各専門委員会との調整を行っていく。

② 記念誌編纂委員会

- ・ 「高田高校百年物語」について、執筆者・井岡氏からの提案により、内容に関する八つの柱立てについて、委員会です承。
- ・ 従来「十年の歩み」の編集に併せ、創設期以来の写真などを主としたピックアップ版を、教職員中心に令和2年度から業務を始め編纂する。

③ 募金委員会

- ・ 本年2月現在、特定募金が 30,550,000 円(目標額の約6割)、一般募金が 5,232,888 円(同約5割)という状況にあることから、募金期間を延長する。(大阪国税局への必要な手続きを進める)
- ・ 新たな募金先の開拓を進めるうえで、再度、同窓生への趣意書を送付し協力を依頼する。一口あたりの募金額について基準があるが、募金しやすくなるよう柔軟に対応していく。

④ 記念事業委員会

- ・ 同窓会館改修に関わり、耐震化と機能の充実をコンセプトとしているが、募金状況を勘案しながら、耐震化を最優先として食堂の改修を中心に改修内容を策定していく。
- ・ 改修時期は、延長を予定している特定募金との関係や校舎耐震工事との関係等を踏まえて設定していく。
- ・ 改修の設計・管理は、佐々岡弘昭氏(一級建築士、日本伝統再築士、同窓会幹事)に委託することとする。

⑤ 行事・式典委員会

- ・ 百周年記念式典の会場は、高田高校体育館として進めてきたが、体育館の許容人数が全校生徒でほぼ満杯となり来場者向けに余裕が少ないこと、祝賀会場への移動のこと、加えて、校舎耐震工事が当該年度も行われ進捗により大きな影響が懸念されることなどから、榎原文化会館での実施を検討する。
- ・ 式典行事の内容は、教職員が中心となり素案を策定し、本委員会や企画委員会に提案する。
- ・ 祝賀会は、「THE KASHIHARA」に予約済みである。現段階では、座席 250 名・全体 2.5 時間・一人あたり 8,000 円という規模を施設と打ち合わせ済みである。

(4) その他

- ・ 次回企画委員会の開催時期(令和2年9月初旬)
- ・ 各専門委員会の開催(随時必要に応じて開催)